

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810010E1 | 科目番号 / Subject code | 05810010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEFY 11111_001 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教養ゼミナール / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 宇都宮 譲 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門) | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810010E2 | 科目番号 / Subject code | 05810010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEFY 11111_001 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教養ゼミナール / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 後藤 祐一 / Yuichi Goto | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 後藤 祐一 / Yuichi Goto | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 後藤 祐一 / Yuichi Goto | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門) | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810010E3 | 科目番号 / Subject code | 05810010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEFY 11111_001 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教養ゼミナール / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門) | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810010E4 | 科目番号 / Subject code | 05810010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEFY 11111_001 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教養ゼミナール / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 式見 雅代 / Shikimi Masayo | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 式見 雅代 / Shikimi Masayo | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 式見 雅代 / Shikimi Masayo | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門) | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810010E5 | 科目番号 / Subject code | 05810010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEFY 11111_001 | | |
| 授業科目名 / Subject | 教養ゼミナール / First-Year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 村田 嘉弘 / Murata Yoshihiro | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 自由選択科目, 教養ゼミナール科目, 自由科目 (専門) | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 大学入学以前の教師主導型を主とする学習からの転換を図り, 大学における自主的な学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。そのため, 知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的な目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, グループ作りに役立てることも狙いとしている。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を身につける。 レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて適切な自己表現能力を身につける。 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | ・1クラス10~12名程度の学生で構成し, 原則として1名の教員が前期を通じて担当する。 ・ディスカッション, 実地調査など体験的・双方向的学習形態を中心とする。実地調査の組み込み等具体的な実施方法は各クラス担当教員が決める。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | ・週1コマ, 15週で2単位とする。 ・自主的に学習し, 課題を発見し, 解決するとはどのようなことかを, 討論など体験的・双方向的な学習形態を通して身につける。 ・各教員の指示に従い, 課題についてのグループディスカッション, 全体ディスカッション, グループによるテーマ研究, 成果のプレゼンテーション・質疑応答, レポート作成などに取り組む。 ・図書館資料収集ガイダンス, メディアステーションガイダンス, 情報セキュリティやICT利用に関する授業などが適宜組み込まれる。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 各クラス担当教員の指示による。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 教養ゼミナールに対する取り組み方・ディスカッション(教養ゼミナールへの積極的な参加, 情報の収集状況・分析など), プレゼンテーション(わかりやすい資料, 話の構成, 説得力など), レポート(構成, 文章表現など)により総合的に評価する。詳細は各クラスの担当教員の指示による。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|----------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/21 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0, 2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160561001050 | 科目番号 / Subject code | 05610010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 情報処理入門 / Introduction to Computer Sciences | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 情報処理科目, 情報処理科目, 教職免許科目・その他, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 本館MS 1, [経済] 本館MS 2 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主コース | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | sigh@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 経済学部本館 631 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-820-6372 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 講義時間終了後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jp にて受け付けています。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | <p>授業の概要 情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身に付けるとともに、様々な情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。</p> <p>授業の位置づけ 本科目は全学教育における情報処理科目である。</p> | | |
| 授業到達目標 / Goal | <p>授業到達目標： 情報端末を正しく用いて情報を扱う情報リテラシーが身につくことを到達目標とする。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる ・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる ・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算を基本的に理解し、操作方法や活用方法を説明できる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | <p>授業方法： 授業は、講義と演習とを組み合わせ進めます。講義内容の理解を深めるために各自が所有する必須パソコンを利用して操作演習を行う演習課題や自習課題を出します。主体的学修促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。</p> <p>履修者は大学の下記Webページを参考に、ノートパソコンを準備の上で受講すること。 http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/H27/pc-hikkei.pdf</p> | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | <p>授業内容 原則として以下の内容に沿って授業を進めるが、進捗や理解度の状況に応じて若干の変更を行うことがあります。</p> | | |
| キーワード / Key word | 情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | <p>教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できません)。 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 日経パソコンEdu (大学推奨仕様モデルのPC (大学生協で販売) に、オンライン学習サービスの利用権 (4年分) が設定されているので、そちらを利用します。それ以外のPCを使用する場合は別途購入願います)。 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにて公開します。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | <p>定期試験 30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。 演習課題 60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。 授業への参加状況 10% 作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点とします。</p> | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | <p>Windows 10/8.1 及び MS-Office Professional / Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。</p> | | |

| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
|--------------------------------|---|
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/ |
| 学生へのメッセージ/Message for students | コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 【ガイダンス】 | 授業方法の説明、必携パソコンの初期設定、無線LAN接続実習 |
| 第2回 【PCとLACSの活用1】 | Office365セットアップ、LACS紹介と操作実習1 |
| 第3回 【PCとLACSの活用2】 | LACS紹介と操作実習2、電子メール利用実習 |
| 第4回 【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 | (情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連) 情報倫理、個人情報保護など |
| 第5回 【コンピュータとネットワークの基礎】 | コンピュータのネットワーク、インターネットの構成 |
| 第6回 【表計算1/4】 | Microsoft Excelの機能、基本操作、セルの参照、数式、表の書式設定 |
| 第7回 【表計算2/4】 | グラフ作成・印刷、関数、複数シートを使ったデータ処理 |
| 第8回 【表計算3/4】 | 条件設定、複合グラフの作成、データの検索 |
| 第9回 【表計算4/4】 | ピボットテーブル、マクロ活用 |
| 第10回 【文書作成1/2】 | Microsoft Wordの操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成 |
| 第11回 【文書作成2/2】 | ページの設定、印刷方法、ワードアート挿入、スタイルの設定 |
| 第12回 【プレゼンテーション1/2】 | プレゼンテーションとは、資料作成上の留意点、PowerPointについて |
| 第13回 【情報のデジタル化】 | 情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化 |
| 第14回 【プレゼンテーション2/2】 | プレゼンテーション実習 |
| 第15回 【総合演習】 | 授業の振り返り |
| 【定期試験】 | まとめ、試験 |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160562020050 | 科目番号 / Subject code | 05620200 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 健康・スポーツ科学 / Science of Health and Sports | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 中垣内 真樹 / Nakagaiti Masaki, 山内 正毅 / Yamauchi Masaki, 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 林田 雅希 / Hayashida Masaki, 門田 耕一郎 / Kadota Koichiro, 高橋 浩二 / Koji Takahashi, 蔵本 明子 / Kuramoto Akiko, 小川 さやか / Sayaka Ogawa | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 古林 正和 / Kobayashi Masakazu | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 中垣内 真樹 / Nakagaiti Masaki, 山内 正毅 / Yamauchi Masaki, 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 林田 雅希 / Hayashida Masaki, 門田 耕一郎 / Kadota Koichiro, 高橋 浩二 / Koji Takahashi, 蔵本 明子 / Kuramoto Akiko, 小川 さやか / Sayaka Ogawa | | |
| 科目分類 / Class type | 健康・スポーツ科学科目, A健康コンディショニング科目, 健康・スポーツ科学科目, 自由選択科目, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [経済] 新館 101 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | | | |
| 授業到達目標 / Goal | | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |

| | | | |
|--|--|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択, 自由 / required, elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0, 2.0/2.0, 0.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160562020050 | 科目番号 / Subject code | 05620200 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 健康・スポーツ科学 / Science of Health and Sports | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 中垣内 真樹 / Nakagaiti Masaki, 山内 正毅 / Yamauchi Masaki, 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 林田 雅希 / Hayashida Masaki, 門田 耕一郎 / Kadota Koichiro, 高橋 浩二 / Koji Takahashi, 蔵本 明子 / Kuramoto Akiko, 小川 さやか / Sayaka Ogawa | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 古林 正和 / Kobayashi Masakazu | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 古林 正和 / Kobayashi Masakazu, 中垣内 真樹 / Nakagaiti Masaki, 山内 正毅 / Yamauchi Masaki, 田井村 明博 / Akihiro Taimura, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 林田 雅希 / Hayashida Masaki, 門田 耕一郎 / Kadota Koichiro, 高橋 浩二 / Koji Takahashi, 蔵本 明子 / Kuramoto Akiko, 小川 さやか / Sayaka Ogawa | | |
| 科目分類 / Class type | 健康・スポーツ科学科目, A健康コンディショニング科目, 健康・スポーツ科学科目, 自由選択科目, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [経済] 新館 101 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主コース | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | masakazu-f328@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 保健・医療推進センター | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2213 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 健康や身体運動に関する身体的、生理的特性、またはその社会的側面などについて理解を深め、実生活で役立つ知識の獲得をねらいとする。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 生活習慣に関連する身体的・精神的疾病の基礎を説明できるようにする。生活習慣と健康、身体運動と健康の関連性を説明できるようにする。個々の生活習慣を振り返り、生活習慣を少しでも改善できるようにする。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 授業で配布する資料を用いて健康や身体運動に関する基礎知識を講義形式で説明する。適時、身近なデータを用いた計算、分析、各自のライフスタイルなどの振り返りなどの演習もおこない実生活に役立つ知識も提供する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 以下のテーマに従って健康や身体運動に関する身体的、生理的徳用またはその社会的側面などについて理解を深める。 | | |
| キーワード / Key word | 健康、生活習慣病、生涯スポーツ、身体運動 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。 参考書：学生と健康, (編) 国立大学等保健管理施設協議会, 南江堂 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | レポートまたは小テストの合計100%。毎回のテーマに関するレポートを総合して評価する。各週のレポートあるいは小テストは、10点満点で評価し、15回の平均で評価する。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 9月29日: 中垣内真樹; 体力トレーニング法 1 | | |
| 第2回 | 10月6日: 中垣内真樹; 体力トレーニング法 2 | | |
| 第3回 | 10月13日: 田井村明博; 運動と健康 | | |
| 第4回 | 10月20日: 田井村明博; 運動と筋肉 | | |
| 第5回 | 10月27日: 田井村明博; 運動とエネルギー代謝 | | |
| 第6回 | 11月10日: 山内正毅; 運動学習の心理学 | | |
| 第7回 | 11月24日: 高橋浩二; 身体運動と健康についての身体論 | | |

| | |
|------|------------------------------------|
| 第8回 | 12月1日：古林正和；青年期に健康を考える |
| 第9回 | 12月8日：古林正和；生活習慣病(1) |
| 第10回 | 12月15日：門田耕一郎；生活習慣病(2：メタボリックシンドローム) |
| 第11回 | 12月22日：林田雅希；心の健康(1) |
| 第12回 | 平成29年1月5日：小川さやか；心の健康(2) |
| 第13回 | 1月12日：藏本明子；歯と歯ぐきの健康 |
| 第14回 | 1月19日：大石和代；青年期の性 |
| 第15回 | 1月26日：古林正和；科目責任者：総括(まとめ) |
| 第16回 | |

| | | | |
|--|--|--|----------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6, 金 / Fri 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/06/04 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160566001050 | 科目番号 / Subject code | 05660010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 人間と文化(リスクマネジメントと安全文化) / Humanity and Culture | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko | | |
| 科目分類 / Class type | 人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 全学部2年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | hidechto@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 工学部1号館3F機械工学 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2516 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月曜日午前8時から8時30分 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 過去の事故等を調査しその問題討論することにより、安全に対する意識の向上を図る。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 安全を確保するための方法について考え、討論を行うことが出来る。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 講義、調査、発表、討論からなる演習形式。特に、安全工学の概略について教員から講義を受け、共に討論を行う。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | <p>事故や災害に関わる問題では、設備や装置の安全な設計、それを運転する人間の教育、システムとしてのマネジメント・保守管理、組織(企業・経営)など様々なレベルがあり、各レベルにおける事故原因がある。また、原因ばかりでなく、その影響の大きさや広がりも把握することも重要である。さらに事故や災害時の対応やその後の対策も重要である。各回の授業において、それらについて調査し議論をおこなう。また、リスクアセスメント等の重要な考え方について演習を踏まえて学ぶ。</p> <p>1回 安全工学の概論(その1:リスクアセスメント) 2回 安全工学の概論(その2:安全文化) 3回 安全工学の概論(その3:グループ討議の検討) 4回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その1) 5回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その2) 6回 調査・討論(概略、状況、原因の調査:その3) 7回 調査・討論(対応、その後の経過:その1) 8回 調査・討論(対応、その後の経過:その2) 9回 調査・討論(対応、その後の経過:その3) 10回 調査・討論(事故の分析:その1) 11回 調査・討論(事故の分析:その2) 12回 調査・討論(事故の分析:その3) 13回 調査・討論(事故の分析:その4) 14回 調査・討論(全体討論:その1) 15回 調査・討論(全体討論:その2)</p> <p>クラス全体で最終発表を行う。各班は調査結果をパワーポイントを用いて発表するとともに、討論する。</p> <p>課題例: ソニーリチウム電池事故、日比谷線脱線衝突事故、シンドラエレータ問題、六本木回転ドア事故、スペースシャトルチャレンジャー・コロンビア事故、H ロケット事故、東海村臨界事故、もんじゅNa漏れ事故、雲仙普賢岳噴火災害、長崎大水害、アスベスト問題など</p> | | |
| キーワード / Key word | 安全工学、事故、リスクアセスメント、安全文化 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 安全工学資料室にある資料(安全工学に関する参考書、安全工学や事故に関するビデオ)を利用する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | <p>・評価方法: レポート70点, プレゼンテーション30点の合計が60点以上を合格とする。 ・評価基準: 事故をよく調査しているか。関係者の事故や災害への対応とその後の対策についてよく調べているか。リスクアセスメントや事故後の情報や対策の展開の妥当性について考えているか。プレゼンテーションはわかりやすかったか。</p> | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | <p>・1年次の「安全・安心のモジュール」を聴講していることが望ましい。 ・全回出席を原則とする。</p> | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| アクセシビリティ/Accessibility | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | |

| | | | |
|--|---|--|------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択, 自由 / elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0, 0.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160566005050 | 科目番号 / Subject code | 05660050 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 社会と歴史(社会科学からみた安全・安心) / Society and History | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura, 村山 洋介 / Yosuke Murayama | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura, 村山 洋介 / Yosuke Murayama | | |
| 科目分類 / Class type | 人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | murayama@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 経済学部本館6階村山研究室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-820-6362 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 社会科学(とりわけ法律学)の観点から市民の安心・安全を考える | | |
| 授業到達目標 / Goal | 私人間に生じる法的トラブルとその解決方法を学修し、法的な側面から日常生活の安全・安心を確保する方法を学ぶ。具体的には、契約上のトラブル、医療過誤、原野商法、マルチ商法、消費者問題などを扱う。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 講義形式 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 契約、損害賠償、医療過誤、民事訴訟、犯罪、刑罰、基本的人権、財産権 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 特に指定しない。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | レポート(70%)、小テスト(15%)、授業参加度(15%)による評価で計100点満点中60点以上の者を合格とする | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 特になし。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 法の役割と機能(1) | | |
| 第2回 | 法の役割と機能(2) | | |
| 第3回 | 契約から生じる法的責任(1) | | |
| 第4回 | 契約から生じる法的責任(2) | | |
| 第5回 | 損害賠償の発生原因(1) | | |
| 第6回 | 損害賠償の発生原因(2) | | |
| 第7回 | 損害賠償の算定方法(1) | | |
| 第8回 | 損害賠償の算定方法(2) | | |
| 第9回 | 金銭の貸借 | | |
| 第10回 | 利息に関する法規制 | | |
| 第11回 | 刑罰と法(1) | | |
| 第12回 | 刑罰と法(2) | | |
| 第13回 | 詐欺的商法と法規制(1) | | |

| | |
|------|------------------|
| 第14回 | 詐欺的商法と法規制（2） |
| 第15回 | 社会科学からみた安心・安全まとめ |

| | | | |
|--|---|--|------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択, 自由 / elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0, 0.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160566009050 | 科目番号 / Subject code | 05660090 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 経済と経営(ASEANのいろいろ) / Economics and Business | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 科目分類 / Class type | 人文・社会科学科目, 人文・社会科学科目, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主コース | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | yuzuru@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 東南アジア研究所209室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-820-6300(代表) | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 随時応談 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | <p>本講義は、ASEAN(東南アジア諸国連合)を構成する各国社会事情について、網羅的に理解することを目的とする。</p> <p>ASEANは、わが国による経済活動にとって、枢要な位置を占める。食糧確保や防衛、周辺諸国を含めた環境保護にとっても、重要な地域である。同地域社会事情に関する知見は、一般教養であるとさえ言える。にもかかわらず、さほど知られる知見であるとも言いがたい。ASEANを構成する国名をすべてそらんじることができる人々が、何人いるだろうか。</p> <p>そこで担当者は、同地域における地理、歴史、人口、経済に着目、これらを網羅的に解説することを企図するに至った。</p> | | |
| 授業到達目標/Goal | <p>本講義は、以下3点を、講義目標として提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ASEANに関して提供した知見を、正確に獲得すること。 2. 同地域に関心を抱くこと。 3. 同地域において発生し得る社会問題を考察すること。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 講義による | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <p>本講義は、ASEAN各国における地理、歴史、人口、経済に関する知見を提供する。とくに、ASEANと呼ばれる各国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム)については、時間を割いて解説する。</p> | | |
| キーワード/Key word | <ol style="list-style-type: none"> 1. 東南アジア諸国連合 2. 持続可能性 3. 社会貢献 4. 環境保護 5. 人口構造 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | <p>教科書は用いない。講義担当者が配布する資料および各機関が作成した各国事情に関する資料を用いる。一例として、国際協力銀行による資料(https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment)を挙げる。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | <p>本科目は、以下4点を、成績評価基準とする。カッコ内は、成績評価に占める重要度を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験(50%) : 定期試験期間中に実施する。 2. 小テスト(@10%×2回、20%) : 中に2回実施する。 3. 予習用課題(@1%×15回、15%) : 講義当日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 4. 復習用課題(@1%×15回、15%) : 講義日翌日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 特になし。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p> | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | <ol style="list-style-type: none"> 1. 4回以上欠席した受講者は、理由の如何を問わず、定期試験を受験する権利を喪失する。 2. 本講義は、必携PCおよびスマートフォンを用いる。持参して出席すること。 3. 講義内容に関する質問を歓迎する。 | | |

| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
|-----------------------------|---|
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 1 | イントロダクション：本講義目標、方法、成績評価基準について説明する。受講者がASEANについてなにを知っているか（知らないか）に関する調査も実施する。 |
| 2 | 世界とわが国とASEAN その1：おもに経済的側面について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。 |
| 3 | 世界とわが国とASEAN その2：経済的側面を除く社会事情について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。 |
| 4 | タイ その1（歴史・地理・人口・経済） |
| 5 | タイ その2（企業と産業） |
| 6 | タイ その3（社会貢献と昨今の情勢） |
| 7 | マレーシア |
| 8 | Mid-term ASEAN Quiz |
| 9 | ベトナム その1（歴史・地理・人口・経済・企業） |
| 10 | ベトナム その2（食料生産と環境保護） |
| 11 | フィリピン |
| 12 | インドネシア |
| 13 | その他各国 その1（ラオス、カンボジア、ミャンマー） |
| 14 | その他各国 その2（ブルネイ・ダルサラーム、シンガポール） |
| 15 | 総括とASEAN Quiz その2 |
| 16 | 定期試験 |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160566011050 | 科目番号 / Subject code | 05660110 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEOC 12611_002 | | |
| 授業科目名 / Subject | 日本国憲法 / The Constitution of Japan | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 井田 洋子 / Ida Youko | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 井田 洋子 / Ida Youko | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 井田 洋子 / Ida Youko | | |
| 科目分類 / Class type | 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済]本館12(講義室) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 2年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | smile@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 本館506 | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 火曜日16:10~18:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理(普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄)を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 受講生が、憲法の基本概念を理解すること、主権者としての自覚をもち、憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えるようになること、日本社会だけでなく国際社会の問題に目をむけるようになること。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | テキスト使用に加え、毎回A41枚程度のレジュメを配布するとともに、適宜その日のテーマに関連した判例を配布する。また、一方的な講義にならないよう、レポート等を通じて学生の考えに触れる機会を確保するよう務める。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | | | |
| キーワード/Key word | 立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 【テキスト】大隈義和・大江正昭『憲法学へのいざない』青林書院 【参考文献】『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書後半『世界憲法集』岩波書店 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | レポート40%、定期試験60%の総合評価。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 憲法とはなにか 基本概念の把握—国家、民主主義、立憲主義、法治国家等 | | |
| 第2回 | 憲法制定過程と2つの天皇制 | | |
| 第3回 | 国民主権と選挙制度 | | |
| 第4回 | 法の下での平等 | | |
| 第5回 | 信教の自由と政教分離 | | |
| 第6回 | 表現の自由 1 | | |
| 第7回 | 表現の自由 2 | | |
| 第8回 | 人身の自由 | | |
| 第9回 | 社会権 | | |
| 第10回 | 外国人の人権 | | |
| 第11回 | 国家権力の構造 立法権と行政権の関係 | | |

| | |
|------|-------------|
| 第12回 | 司法権 |
| 第13回 | 憲法9条と戦争放棄 1 |
| 第14回 | 憲法9条と戦争放棄 2 |
| 第15回 | 憲法改正問題 |
| 第16回 | 試験 |

| | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6, 金 / Fri 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/06/06 ~ 2016/08/08 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択, 自由 / elective, optional | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0, 0.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160567005050 | 科目番号 / Subject code | 05670050 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 生命の科学(医療現場の安全と安心) / Life Sciences | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 林田 秀明 / Hayashida Hideaki, 安田 二郎 / Yasuda Jiro, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 松 本 武浩 / Matumoto Takehiro | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 林田 秀明 / Hayashida Hideaki | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 林田 秀明 / Hayashida Hideaki, 安田 二郎 / Yasuda Jiro, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 松 本 武浩 / Matumoto Takehiro | | |
| 科目分類 / Class type | 人間科学科目, 人間科学科目, 査定外 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 2年次生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | hide@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 総合歯科診療部 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7757 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜日16:30 ~ 18:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 国内・外での病原性感染症発祥の歴史や国際伝播、情報共有について理解を深め、認識するととも に、国際人として国際社会で活躍するために、自ら医療の安全、安心の意識を育てる。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 国内・外で注目されている感染症および生体防御の基礎について理解する。 医療現場における安全と安心について理解する。 歯科医療における安全と安心について理解する。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 基本的に講義形式とする。 内容により参加型の討論形式などを行う。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | | | |
| キーワード/Key word | 医療現場・感染症・国際伝播・情報共有 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | プリントの配布とスライドによる講義なので教科書・教材・参考書等特になし | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | レポート(70%)、小テスト(15%)、授業参加度(15%)による評価で計100点満点中60点以上の者 を合格とする | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 特になし | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用である。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 歯科における標準予防策 (林田) | | |
| 第2回 | 歯科治療における偶発症とその防止策 (林田) | | |
| 第3回 | 新興感染症出現の背景と致死性の高いウイルス性出血熱に関する基礎知識 (安田) | | |
| 第4回 | テレビや映画の中の感染症: 正しく伝えられているか? (安田) | | |
| 第5回 | 病気を起こす原虫とは? (安田) | | |
| 第6回 | 世界的に重大な感染症マラリアに関する基礎知識 (安田) | | |
| 第7回 | ネグレクテッド・トロピカル・ディーズ(顧みられない熱帯病): 「死なないからと放っておかれてはたまらない」1 (濱野) | | |
| 第8回 | ネグレクテッド・トロピカル・ディーズ(顧みられない熱帯病): 「死なないからと放っておかれてはたまらない」2 (濱野) | | |
| 第9回 | 細菌の感染の仕組み (濱野) | | |
| 第10回 | 地球規模のピロリ菌感染 (濱野) | | |
| 第11回 | 「防御は最大の攻撃?—ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか? (濱野) | | |

| | |
|------|---|
| 第12回 | 「防御は最大の攻撃？—ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか？（安田） |
| 第13回 | 医療機関における安全管理（松本） |
| 第14回 | 医療連携における安全・安心（松本） |
| 第15回 | 診療録管理を通じた安全・安心の医療の提供（松本） |
| 第16回 | |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160567007050 | 科目番号 / Subject code | 05670070 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 人間と環境(公害環境問題と社会) / Human and Environment | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 戸田 清 / Toda Kiyoshi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 戸田 清 / Toda Kiyoshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 戸田 清 / Toda Kiyoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 人間科学科目, 人間科学科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主 1 - 4年 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | toda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 環境科学部4階 環404戸田教員室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2726 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 金曜16-17時 在室のときならいつでも可 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「安全で安心できる社会」の選択科目 | | |
| 授業到達目標/Goal | 代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できるようになることを目指す。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 基本的に映像をまじえた講義方式で行うが、口頭や毎回の質問感想用紙による質疑応答を取り入れて理解度を探りながらすすめる。必要に応じてプリントを配布し、OHPなどを利用して理解を助ける。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <p>具体的な事例を通じて、公害・環境問題への多面的・学際的なアプローチを学ぶ。15回目はまとめ、16回目は定期試験。予定を変更したり、順番を入れ替えたりすることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 水俣病 なぜ半世紀も混乱が続くのか 3 水俣病その2 4 カネミ油症 40年かかってわずかな前進 5 女子割礼問題 6 リニア中央新幹線のメリットとデメリット 7 福島原発事故と甲状腺がん 8 放射線ひばく労働 9 10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物 10 農業問題 とくにネオニコチノイド系 11 遺伝子組み換え作物 12 石木ダム計画をめぐる紛争 13 ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊 14 自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ 15 まとめ 16 定期試験 | | |
| キーワード/Key word | 水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年。参考書は適宜紹介する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 定期試験70%、レポート30% | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 授業外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと(週平均2時間程度)。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 電話095-819-2006 FAX095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | http://todakiyosi.web.fc2.com/ | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 教科書を通読すること。 | | |
| 授業計画詳細/Course Schedule | | | |
| 回(日時)/Time(date and time) | 授業内容/Contents | | |
| 1 10月3日 | イントロダクション | | |

| | | |
|----|--------|---------------------------|
| 2 | 10月17日 | 水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか |
| 3 | 10月24日 | 水俣病その2 |
| 4 | 10月31日 | カネミ油症 40年かかってわずかな前進 |
| 5 | 11月7日 | 女子割礼問題 |
| 6 | 11月14日 | リニア中央新幹線のメリットとデメリット |
| 7 | 11月21日 | 福島原発事故と甲状腺がん |
| 8 | 11月28日 | 放射線被ばく労働 |
| 9 | 12月5日 | 10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物 |
| 10 | 12月12日 | 農薬問題 とくにネオニコチノイド系 |
| 11 | 12月19日 | 遺伝子組み換え作物 |
| 12 | 12月26日 | 石木ダム計画をめぐる紛争 |
| 13 | 1月16日 | ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊 |
| 14 | 1月23日 | 自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ |
| 15 | 1月30日 | まとめ |
| 16 | 2月6日 | 定期試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160567007051 | 科目番号 / Subject code | 05670070 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 人間と環境(安全と安心の街づくり) / Human and Environment | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 植木 とみ子 / Tomiko Ueki | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 植木 とみ子 / Tomiko Ueki | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 植木 とみ子 / Tomiko Ueki | | |
| 科目分類 / Class type | 人間科学科目, 人間科学科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | eメールにて随時受け付けます | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 安全安心というキーワードを通して、真に豊かな生活を考える | | |
| 授業到達目標 / Goal | 真に民主政治を担うことが出来る、自立した個人を育成する | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 課題に関する資料の読み込み、ディスカッション、共通理解 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 安全安心の街とは何かをあらゆる方面から考え、その中での個人の役割を認識する | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 植木とみ子著「市役所の女」海鳥社、プリント、行政資料 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 課題30%、授業参加度30%、試験40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 防災 あなたにとって安全安心の街とは | | |
| 第2回 | 防災 具体的な行動 | | |
| 第3回 | 防犯 無力な存在はどう護られるか | | |
| 第4回 | 防犯 あなたは安全な環境にいるか | | |
| 第5回 | 防犯 あなた自身の心は安全か | | |
| 第6回 | 安全安心の街とは 長崎は住みやすいか | | |
| 第7回 | 環境・街づくり 長崎の道路事情 | | |
| 第8回 | 環境・街づくり ユニバーサルデザインの街 | | |
| 第9回 | 環境・街づくり 水資源をどう護るか | | |
| 第10回 | 環境・街づくり ごみ減量の取組み | | |
| 第11回 | 子育て・教育 母親の孤立を防ぐ | | |
| 第12回 | 高齢者・障害者 弱者支援とは | | |
| 第13回 | 地域での共生を考える | | |
| 第14回 | 生活の中での安全安心 食品問題と消費者問題 | | |
| 第15回 | 安全安心の街はどう造られるか | | |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160568007050 | 科目番号 / Subject code | 05680070 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 生物の科学 / Biological Sciences | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 科目分類 / Class type | 自然科学科目, 自然科学科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 全学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | takahasi@nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab@q.vodafone.ne.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 090-1343-1361 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | ヒトは, 物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り, 有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に, ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び, 動物行動科学の応用性と薬物の有用性, 有害性について一般教養レベルで理解する。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 動物の行動から何がわかるか説明できるようになる。一般教養として, 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ, 信頼性について理解し, 説明できるようになる。薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 基本的に講義形式で行いますが, できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて, ハンドアウトを配布します。また, パワーポイントなども利用して理解を進めます。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 動物の行動の基本事項, 動物モデル, 行動機能試験, 医薬品の適正使用と薬物乱用など多様な行動機能を学習し, 行動分析の意義を理解する。動物実験とデータ処理について学び, 動物行動科学の裏づけを学ぶ。 第16回目: 定期試験を行う。 | | |
| キーワード/Key word | 動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は用いない。適宜, ハンドアウトを配布する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 定期試験(50%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(30%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 原則として全回出席することを単位認定の要件とする。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | 一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び, 今後の学習への志向, 態度を涵養する。 | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動, 動物実験とその意義 | | |
| 第2回 | 動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル | | |
| 第3回 | 動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安, ストレス | | |
| 第4回 | 動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ | | |
| 第5回 | 動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析 | | |
| 第6回 | 動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存 | | |
| 第7回 | 動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法 | | |
| 第8回 | 動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬 | | |

| | |
|------|-----------------------------------|
| 第9回 | 動物の行動機能試験（8） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法 |
| 第10回 | 動物の行動機能試験（9） 動物の行動毒性から学ぶこと |
| 第11回 | 動物実験とデータ処理（1） 動物実験で使用される基本的検定法 1 |
| 第12回 | 動物実験とデータ処理（2） 動物実験で使用される基本的検定法 2 |
| 第13回 | 動物実験とデータ処理（3） 動物実験で使用される基本的検定法 3 |
| 第14回 | 動物実験とデータ処理（4） メンデルの実験データを考える |
| 第15回 | 全授業の総括 |
| 第16回 | 定期試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160568009050 | 科目番号 / Subject code | 05680090 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 地球と宇宙の科学(水環境の安全と安心) / Earth and Space Sciences | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 多田 彰秀 / Tada Akihide | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 田邊 秀二 / Tanabe Shuji | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 多田 彰秀 / Tada Akihide | | |
| 科目分類 / Class type | 自然科学科目, 自然科学科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済(夜間主) | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | s-tanabe@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 工学研究科(総合教育研究棟7F709) | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2659 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 12:00-12:50(事前にメールで連絡すること) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 日本は地球の温帯地域にあり、四季を通じて降雨があるため水には恵まれてきた。しかし、途上国においては、安全な飲料水の確保は喫緊の問題であり、日本に限らず、先進国の水処理技術の導入が急がれている。この講義では、工学研究科の水環境技術者育成に関わる教員により、水環境に関する技術の現状、問題点を整理し、日本の持つ先進的なモニタリング技術、アセスメント、膜や生物処理を使った最先端水処理技術などを理解することで、普段気づかない水環境の安全・安心について考える。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 水環境に関する問題について解説できる。水環境のモニタリング技術、廃棄物問題、水処理技術について説明できる。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法を取り入れる。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | | | |
| キーワード/Key word | 水、膜、廃棄物、水環境、分離、生物処理、シミュレーション | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は使用しない。必要があればプリントを配付し、参考書を紹介する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 講義への積極的参加(40%)、レポート課題の評価(60%)の総合点で評価する。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 特になし | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | オリエンテーション：有明海や水俣湾における水環境の現状 | | |
| 第2回 | 水環境モニタリング技術について | | |
| 第3回 | 水道と水源池 | | |
| 第4回 | 水源を守る | | |
| 第5回 | 日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(1) | | |
| 第6回 | 日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(2) | | |
| 第7回 | 化学薬品、重金属などの危険物質の現状と対策について | | |
| 第8回 | 世界の水環境問題と膜分離技術の貢献について | | |
| 第9回 | <水を造る>膜分離技術概論 - 現状と展望 - | | |
| 第10回 | <水を再生する>膜分離技術概論 現状と展望 - | | |
| 第11回 | 水環境生態系の保全と修復 | | |
| 第12回 | 環境シミュレーションの方法と数値計算の原理 | | |

| | |
|------|----------------------|
| 第13回 | コンピュータによる数値計算の手続き |
| 第14回 | 環境問題へのシミュレーションの応用例 |
| 第15回 | 水環境の安全・安心に関する総括と評価試験 |
| 第16回 | 評価結果に対する指導 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/21 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 / required | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160582001050 | 科目番号 / Subject code | 05820010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEIS 11111_013 | | |
| 授業科目名 / Subject | 情報基礎 / Introduction to Information Science | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 情報科学科目, 情報科学科目, 教職免許科目・その他 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 本館MS 1, [経済] 本館MS 2 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主コース | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | sigh@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 経済学部本館 631 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-820-6372 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 講義時間終了後、および、sigh@nagasaki-u.ac.jp にて受け付けています。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | <p>授業の概要 情報化が進んだ現代において、「情報を使いこなす力」(情報リテラシー)が生活する上での「生きる力」の一つとなっている。長崎大学では、学生が生涯にわたって主体的な学修を行っていくための基礎として、情報リテラシーを1年次で身につけることとしている。本科目では、情報リテラシーの習得を目的として、情報機器や情報システム、ネットワークといった技術的知識、情報セキュリティや情報倫理などの生活知識を身に付けるとともに、様々な情報システムやソフトウェアの活用技術を習得する。</p> <p>授業の位置づけ 本科目は教養教育における情報科学科目である。</p> | | |
| 授業到達目標/Goal | <p>授業到達目標： 情報端末を正しく用いて情報を扱う情報リテラシーが身につくことを到達目標とする。この目標を達成するために、以下のサブ目標を挙げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報機器やネットワークの機能に関わる基本的事項を説明できる ・情報機器やネットワークを利用する際の倫理やセキュリティを十分に理解し、ネットワークを活用できる ・インターネット(Web)、電子メール、プレゼンテーション、文書作成、表計算を基本的に理解し、操作方法や活用方法を説明できる ・情報資源・ネットワーク環境を利用して、情報を収集、分析、活用できる | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | <p>授業方法： 授業は、講義と演習とを組み合わせ進めます。講義内容の理解を深めるために各自が所有する必須パソコンを利用して操作演習を行う演習課題や自習課題を出します。主体的学修促進支援システム (LACS) を、授業資料や演習課題の提示、課題回収や返却、各種連絡等に活用します。</p> | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <p>授業内容 原則として以下の内容に沿って授業を進めるが、進捗や理解度の状況に応じて若干の変更を行うことがあります。</p> | | |
| キーワード/Key word | 情報リテラシー、情報倫理、情報セキュリティ、ネットワーク社会 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | <p>教科書：「情報基礎」(生協のみで購入可能。一般の書店では入手できません)。 上繁義史、「情報基礎 はじめて学ぶICTの世界」、培風館、2016年 日経パソコンEdu (大学推奨仕様モデルのPC (大学生協で販売) に、オンライン学習サービスの利用権 (4年分) が設定されているので、そちらを利用します。それ以外のPCを使用する場合は別途購入願います)。 教材：必要に応じて、資料や課題などをLACSにて公開します。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | <p>定期試験 30% コンピュータの動作原理、情報を扱う上で必要となる倫理観等が実際に理解できているかを筆記式の試験で確認します。 演習課題 60% 機器操作を伴う課題への取り組みや完成状況を基に判断します。 授業への参加状況 10% 作業指示に従わない場合や演習妨害等の行為は減点とします。</p> | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | <p>Windows 10/8.1 及び MS-Office Professional / Home&Business 2013以降がインストールされたノートPC及びACアダプタを毎回必ず持参すること。 上記のMS-Office製品がインストールされていない場合、本学が無償提供するOffice 365 ProPlusをインストールすること。</p> | | |

| | |
|--------------------------------|---|
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/ |
| 学生へのメッセージ/Message for students | コンピュータの操作に慣れていない場合は、毎日少しの時間でもキーボードに触れる時間をとることが望まれます。 |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 【ガイダンス】 | 授業方法の説明、必携パソコンの初期設定、無線LAN接続実習 |
| 第2回 【PCとLACSの活用1】 | Office365セットアップ、LACS紹介と操作実習1 |
| 第3回 【PCとLACSの活用2】 | LACS紹介と操作実習2、電子メール利用実習 |
| 第4回 【情報セキュリティ、情報倫理、法の関わり】 | (情報セキュリティ関連) 情報セキュリティの定義、個人・組織がとるべきセキュリティ対策、ICTに関するストレス対策 (情報倫理、法律関連) 情報倫理、個人情報保護など |
| 第5回 【コンピュータとネットワークの基礎】 | コンピュータのネットワーク、インターネットの構成 |
| 第6回 【表計算1/4】 | Microsoft Excelの機能、基本操作、セルの参照、数式、表の書式設定 |
| 第7回 【表計算2/4】 | グラフ作成・印刷、関数、複数シートを使ったデータ処理 |
| 第8回 【表計算3/4】 | 条件設定、複合グラフの作成、データの検索 |
| 第9回 【表計算4/4】 | ピボットテーブル、マクロ活用 |
| 第10回 【文書作成1/2】 | Microsoft Wordの操作、文字・段落の書式、オブジェクトの操作、表の作成、数式の作成 |
| 第11回 【文書作成2/2】 | ページの設定、印刷方法、ワードアート挿入、スタイルの設定 |
| 第12回 【プレゼンテーション1/2】 | プレゼンテーションとは、資料作成上の留意点、PowerPointについて |
| 第13回 【情報のデジタル化】 | 情報のデジタル化とは、文字・音声・画像のデジタル化 |
| 第14回 【プレゼンテーション2/2】 | プレゼンテーション実習 |
| 第15回 【総合演習】 | 授業の振り返り |
| 【定期試験】 | まとめ、試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160586013750 | 科目番号 / Subject code | 05860137 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMA 12111_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心な社会への取組 (健康と医療の安全・安心) / Safety and Security in Medicine and Health | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 西田 孝洋 / Nishida Koyo, 伊藤 公成 / Kosei ITO, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 江藤 宏美 / Eto Hiromi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 西田 孝洋 / Nishida Koyo | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 西田 孝洋 / Nishida Koyo, 伊藤 公成 / Kosei ITO, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 江藤 宏美 / Eto Hiromi | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済]本館22 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 1年, 2年, 3年, 4年 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | koyo-n@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 歯学部本館7F薬剤学研究室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-8566 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月~金曜日 13:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 医療とは、人間の健康の維持、回復、促進などを目的とした諸活動を意味する。ここでは、健康の維持と医療との関わりを正しく理解し、説明できる。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 教科書を用いない講義科目なので、種々の資料や教材及び手段 (液晶プロジェクターによる映像等) を使用する。また、医療に関わる多様な分野の教員とともに、多様な方法により、「健康と医療の安全・安心」を考える。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 医療に関わる多様な分野の教員が、それぞれの分野における「健康と医療の安全・安心」について講義・演習する。 | | |
| キーワード / Key word | 遺伝、遺伝子組換え、家族、女性、子ども、薬の副作用 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 特に指定しない。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 積極的授業参加態度(40%)、レポート(40%)、小テスト(20%) | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | 特に指定しない。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 定期考査は実施しないので、毎回の出席は当然ですが、課題の提出などをくれぐれも忘れないようお願いいたします。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | イントロダクション(西田)(10/4) | | |
| 第2回 | 遺伝子組換え技術(木住野)(10/11) | | |
| 第3回 | 遺伝子組換え技術と生物多様性(木住野)(10/18) | | |
| 第4回 | 遺伝子組換え技術と医療(木住野)(10/25) | | |
| 第5回 | 現代社会における子ども・女性・家族の危機 ライフイベントと起こりうる危機(江藤)(11/1) | | |
| 第6回 | 現代社会における子ども・女性・家族の危機 ドメスティックバイオレンスの発生と危機(江藤)(11/8) | | |
| 第7回 | 現代社会における子ども・女性・家族の危機 生命誕生と新しいメンバーを迎えた家族の危機(江藤)(11/15) | | |
| 第8回 | 現代社会における子ども・女性・家族の危機 さまざまな葛藤と意思決定支援(江藤)(11/29) | | |
| 第9回 | 遺伝子と遺伝子発現調節(伊藤)(12/6) | | |
| 第10回 | 遺伝子発現調節の重要性(伊藤)(12/13) | | |
| 第11回 | 「がん」とは何か(伊藤)(12/20) | | |

| | |
|------|--------------------|
| 第12回 | がん研究の実際（伊藤）（12/27） |
| 第13回 | 薬の功罪 1（西田）（1/10） |
| 第14回 | 薬害（西田）（1/17） |
| 第15回 | 薬の功罪 2（西田）（1/24） |
| 第16回 | |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 水 / Wed 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160586014550 | 科目番号 / Subject code | 05860145 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMA 12131_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心な社会への取組 (科学と技術の安全・安心) / Risk and Safety in Science and Technology | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 本館 2 2 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 経済 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | hidechto@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 工学部流体エネルギー工学研究室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2516 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月から金8時から8時30分 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心 (科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのかが、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 基本的な事項について、講義により学習をする。さらに、テーマをもとに、みんなで安全・安心について考えて意識を高める。 安全・安心に関する提案を発表する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 人間が安全で快適な生活を送るために、科学技術の発展が図られてきた。一方で、個人などでは処理できないさまざまなシステムが働いている。その中で、安全を維持し安心を図るために必要な基本的な考え方を習得するとともに、組織の中で個人が取り組む安全・安心の意識を育てる。 ・社会では様々な事故が発生し、貴い命が失われることも多い。そのような事故が起こらないように安全を確保することが重要である。そのためには何が重要かを事故の事例とその原因を考えながら学習する。 ・身のまわりの電気機器や電磁波を中心に、目に見えないものが身体へ及ぼす影響について、安全をどうとらえ、安全安心へどのように取り組まれているかを紹介し、安全安心を考える。 ・身のまわりのさまざまな物質に関して、安全を確保するための規制や法律等さまざまな考え方をもち、安全への取り組みを紹介し、安全安心を考える。する。 | | |
| キーワード / Key word | 科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 安全・安心工学入門 (古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |

| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 第1回 | 第1回 安全と安心の基本的な考え方について |
| 第2回 | 第2回 事故の事例と安全意識 |
| 第3回 | 第3回 事故原因の解析法の紹介 |
| 第4回 | 第4回 災害とリスクマネジメントについて |
| 第5回 | 第5回 リスクマネジメントの事例紹介 |
| 第6回 | 第6回 安全文化について |
| 第7回 | 第7回 安全安心の意識調査 安全安心に関する提案のグループ分け |
| 第8回 | 第8回 安全・安心に関する法律 安全安心に関する提案の打ち合わせ1 |
| 第9回 | 第9回 電気に関する安全安心1 安全安心に関する提案の打ち合わせ2 |
| 第10回 | 第10回 電気に関する安全安心2 安全安心に関する提案の打ち合わせ3 |
| 第11回 | 第11回 安全安心に関する提案の発表会 |
| 第12回 | 第12回 電磁波に関する安全安心 安全安心に関する提案の総評 |
| 第13回 | 第13回 化学物質の安全・安心 その1 |
| 第14回 | 第14回 化学物質の安全・安心 その2 |
| 第15回 | 第15回 化学物質の安全・安心 その3 |
| 第16回 | |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160586028150 | 科目番号 / Subject code | 05860281 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心な社会への取組 (経済と生活の安全・安心) / Safety and Security in the Economy and Life | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 片山 朗 / Katayama Akira | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 片山 朗 / Katayama Akira | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 片山 朗 / Katayama Akira | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 本館22 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | akiraka@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 経済学部 東南アジア研究所303号室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095 820 6405 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 金曜日6校時 (事前にメールで予約確認のこと) | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 日本経済・社会の重要課題である少子高齢化、格差拡大、地方創生などを題材として、それが発生する要因を明確にし、有効な解決方を議論することにより、「ありうる未来」ではなく「ありたい未来 (= リスクに強い安全・安心な日本経済・社会)」の実現を目指すことの重要性を理解する。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 社会における中長期的な諸課題を認識するとともに、経済学的アプローチによる課題解決のセンスを身に付けることができるようにする。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 日本経済のトピックスについて、講義により基本的な事項を学習した後、グループで話し合い、自分の意見をまとめる。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 少子化の加速、貧困の連鎖、人口分布の凝縮、消費者市民社会 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は使用しない。授業のレジュメなど、必要な情報はLACS上に掲載する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 期末試験は行わない。授業への取組 (40%)、レポートの提出 (60%) により評価する。 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095 -819 -2006 (FAX) 095-819 -2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 日頃から新聞を読むなど、経済社会に対する関心を持ち、授業に臨むことを心がけてください。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回 (日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | イントロダクション リスクとは何か | | |
| 第2回 | リスクを避ける、移転する、小さくする | | |
| 第3回 | 超高齢化によるリスクについて考える (1) | | |
| 第4回 | 超高齢化によるリスクについて考える (2) | | |
| 第5回 | 単独世帯の急増によるリスクについて考える (1) | | |
| 第6回 | 単独世帯の急増によるリスクについて考える (2) | | |
| 第7回 | 非正規雇用者割合の増加によるリスクについて考える (1) | | |
| 第8回 | 非正規雇用者割合の増加によるリスクについて考える (2) | | |
| 第9回 | 生活保護世帯の急増によるリスクについて考える (1) | | |
| 第10回 | 生活保護世帯の急増によるリスクについて考える (2) | | |
| 第11回 | 人口分布の凝縮によるリスクについて考える (1) | | |
| 第12回 | 人口分布の凝縮によるリスクについて考える (2) | | |

| | |
|------|-------------------------------------|
| 第13回 | 中枢都市圏の衰退によるリスクについて考える（1） |
| 第14回 | 中枢都市圏の衰退によるリスクについて考える（2） |
| 第15回 | まとめ（授業の総括など） ありたい未来をありうる未来にするために |
| 第16回 | |

| | | | |
|--|---|--|----------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6, 金 / Fri 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/01 ~ 2016/09/28 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587026999 | 科目番号 / Subject code | 05870269 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12111_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心できる社会の追及 (医療現場の安全と安心) / Safety and Relief in the Health | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 林田 秀明 / Hayashida Hideaki, 安田 二郎 / Yasuda Jiro, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 川崎 浩二 / Kawasaki Kouji, 松本 武浩 / Matumoto Takehiro | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 林田 秀明 / Hayashida Hideaki | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 林田 秀明 / Hayashida Hideaki, 安田 二郎 / Yasuda Jiro, 濱野 真二郎 / Hamano Shinjiro, 松本 武浩 / Matumoto Takehiro | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 新館 201 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 2年次生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | hide@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 総合歯科診療部 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-7757 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月曜日16:30 ~ 18:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 国内・外での病原性感染症発祥の歴史や国際伝播、情報共有について理解を深め、認識するとともに、国際人として国際社会で活躍するために、自ら医療の安全、安心の意識を育てる。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 国内・外で注目されている感染症および生体防御の基礎について理解する。 医療現場における安全と安心について理解する。 歯科医療における安全と安心について理解する。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 基本的に講義形式とする。 内容により参加型の討論形式などを行う。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 医療現場・感染症・国際伝播・情報共有 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | プリントの配布とスライドによる講義なので教科書・教材・参考書等特になし | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | レポート (70%)、小テスト (15%)、授業参加度 (15%) による評価で計100点満点中60点以上の者を合格とする | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | 特になし | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 各種メディアを利用して関連する事柄を調べることが、理解を深めるために有用である。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回 (日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 歯科における標準予防策 (林田) | | |
| 第2回 | 歯科治療における偶発症とその防止策 (林田) | | |
| 第3回 | 新興感染症出現の背景と致死性の高いウイルス性出血熱に関する基礎知識 (安田) | | |
| 第4回 | テレビや映画の中の感染症: 正しく伝えられているか? (安田) | | |
| 第5回 | 病気を起こす原虫とは? (安田) | | |
| 第6回 | 世界的に重大な感染症マラリアに関する基礎知識 (安田) | | |
| 第7回 | ネグレクテッド・トロピカル・ディジーズ (顧みられない熱帯病): 「死なないからと放っておかれてはたまらない」1 (濱野) | | |
| 第8回 | ネグレクテッド・トロピカル・ディジーズ (顧みられない熱帯病): 「死なないからと放っておかれてはたまらない」2 (濱野) | | |
| 第9回 | 細菌の感染の仕組み (濱野) | | |
| 第10回 | 地球規模のピロリ菌感染 (濱野) | | |
| 第11回 | 「防御は最大の攻撃? —ヒトの免疫の話」 どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか? (濱野) | | |

| | |
|------|---|
| 第12回 | 「防御は最大の攻撃？—ヒトの免疫の話」どうやってヒトはバイキンを追い払ったり負けたりするのか？（安田） |
| 第13回 | 医療機関における安全管理（松本） |
| 第14回 | 医療連携における安全・安心（松本） |
| 第15回 | 診療録管理を通じた安全・安心の医療の提供（松本） |
| 第16回 | |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587027399 | 科目番号 / Subject code | 05870273 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12161_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心できる社会の追及 (社会科学からみた安全・安心) / Safety and Security Viewed from the Social Science | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura, 村山 洋介 / Yosuke Murayama | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura, 村山 洋介 / Yosuke Murayama | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済]新館101(講義室) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | murayama@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 経済学部本館6階村山研究室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-820-6362 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 社会科学(とりわけ法律学)の観点から市民の安心・安全を考える | | |
| 授業到達目標 / Goal | 私人間に生じる法的トラブルとその解決方法を学修し、法的な側面から日常生活の安全・安心を確保する方法を学ぶ。具体的には、契約上のトラブル、医療過誤、原野商法、マルチ商法、消費者問題などを扱う。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 講義形式 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 契約、損害賠償、医療過誤、民事訴訟、犯罪、刑罰、基本的人権、財産権 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 特に指定しない。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | レポート(70%)、小テスト(15%)、授業参加度(15%)による評価で計100点満点中60点以上の者を合格とする | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 特になし。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 法の役割と機能(1) | | |
| 第2回 | 法の役割と機能(2) | | |
| 第3回 | 契約から生じる法的責任(1) | | |
| 第4回 | 契約から生じる法的責任(2) | | |
| 第5回 | 損害賠償の発生原因(1) | | |
| 第6回 | 損害賠償の発生原因(2) | | |
| 第7回 | 損害賠償の算定方法(1) | | |
| 第8回 | 損害賠償の算定方法(2) | | |
| 第9回 | 金銭の貸借 | | |
| 第10回 | 利息に関する法規制 | | |
| 第11回 | 刑罰と法(1) | | |
| 第12回 | 刑罰と法(2) | | |
| 第13回 | 詐欺的商法と法規制(1) | | |

| | |
|------|------------------|
| 第14回 | 詐欺的商法と法規制（2） |
| 第15回 | 社会科学からみた安心・安全まとめ |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 月 / Mon 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587028199 | 科目番号 / Subject code | 05870281 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12181_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心できる社会 (公害環境問題と社会) / Environmental Issues and Society | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 田邊 秀二 / Tanabe Shuji | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 戸田 清 / Toda Kiyoshi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 戸田 清 / Toda Kiyoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 新館 201 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主 1 - 4年 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | toda@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 環境科学部4階 環404戸田教員室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2726 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 金曜16-17時 在室のときならいつでも可 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 安全で安心できる環境を享受するため、公害・環境問題の歴史と現状、またそれらを考察する理論を学ぶ。全学モジュール科目「安全で安心できる社会」の選択科目 | | |
| 授業到達目標/Goal | 代表的な公害・環境問題の概要を説明し、企業、行政、専門家、被害者と一般市民の役割、対立点、キーワードなどを説明できるようになることを目指す。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 基本的に映像をまじえた講義方式で行うが、口頭や毎回の質問感想用紙による質疑応答を取り入れて理解度を探りながらすすめる。必要に応じてプリントを配布し、OHPなどを利用して理解を助ける。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <p>具体的な事例を通じて、公害・環境問題への多面的・学際的なアプローチを学ぶ。15回目はまとめ、16回目は定期試験。予定を変更したり、順番を入れ替えたりすることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 水俣病 なぜ半世紀も混乱が続くのか 3 水俣病その2 4 カネミ油症 40年かかってわずかな前進 5 女子割礼問題 6 リニア中央新幹線のメリットとデメリット 7 福島原発事故と甲状腺がん 8 放射線ひばく労働 9 10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物 10 農業問題 とくにネオニコチノイド系 11 遺伝子組み換え作物 12 石木ダム計画をめぐる紛争 13 ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊 14 自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ 15 まとめ 16 定期試験 | | |
| キーワード/Key word | 水俣病、カネミ油症、原発、リスク社会、受益圏と受苦圏、住民運動と市民運動 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年。参考書は適宜紹介する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 定期試験70%、レポート30% | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | 授業外でも環境問題に関心を持ち、新聞を読むこと (週平均2時間程度)。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートについては、担当教員 (上記連絡先) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談ください。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 電話 095-819-2006 FAX 095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> | | |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | http://todakiyosi.web.fc2.com/ | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 教科書を通読すること。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 1 10月3日 | イントロダクション | | |

| | | |
|----|--------|---------------------------|
| 2 | 10月17日 | 水俣病 公害の原点 なぜ半世紀も混乱が続くのか |
| 3 | 10月24日 | 水俣病その2 |
| 4 | 10月31日 | カネミ油症 40年かかってわずかな前進 |
| 5 | 11月7日 | 女子割礼問題 |
| 6 | 11月14日 | リニア中央新幹線のメリットとデメリット |
| 7 | 11月21日 | 福島原発事故と甲状腺がん |
| 8 | 11月28日 | 放射線被ばく労働 |
| 9 | 12月5日 | 10万年の安全確保を要する高レベル放射性廃棄物 |
| 10 | 12月12日 | 農薬問題 とくにネオニコチノイド系 |
| 11 | 12月19日 | 遺伝子組み換え作物 |
| 12 | 12月26日 | 石木ダム計画をめぐる紛争 |
| 13 | 1月16日 | ベトナム枯葉作戦と劣化ウラン弾 戦争と環境破壊 |
| 14 | 1月23日 | 自然における人類の位置 ヒト、チンパンジー、ボノボ |
| 15 | 1月30日 | まとめ |
| 16 | 2月6日 | 定期試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587029399 | 科目番号 / Subject code | 05870293 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12141_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心できる社会 (水環境の安全と安心) / Introduction to the Engineering for Safe Water Environment | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 冨田 彰秀 / Tada Akihide, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴浩 / Fujioka Takahiro | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 田邊 秀二 / Tanabe Shuji | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 田邊 秀二 / Tanabe Shuji, 冨田 彰秀 / Tada Akihide, 板山 朋聡 / Itayama Tomoaki, 藤岡 貴浩 / Fujioka Takahiro | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済]新館101(講義室) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済(夜間主) | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | s-tanabe@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 工学研究科(総合教育研究棟7F709) | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-2659 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 12:00-12:50(事前にメールで連絡すること) | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 日本は地球の温帯地域にあり、四季を通じて降雨があるため水には恵まれてきた。しかし、途上国においては、安全な飲料水の確保は喫緊の問題であり、日本に限らず、先進国の水処理技術の導入が急がれている。この講義では、工学研究科の水環境技術者育成に関わる教員により、水環境に関する技術の現状、問題点を整理し、日本の持つ先進的なモニタリング技術、アセスメント、膜や生物処理を使った最先端水処理技術などを理解することで、普段気づかない水環境の安全・安心について考える。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 水環境に関する問題について解説できる。水環境のモニタリング技術、廃棄物問題、水処理技術について説明できる。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 講義を基本とする。必要に応じてアクティブラーニング手法を取り入れる。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 水、膜、廃棄物、水環境、分離、生物処理、シミュレーション | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は使用しない。必要があればプリントを配付し、参考書を紹介する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 講義への積極的参加(40%)、レポート課題の評価(60%)の総合点で評価する。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | 特になし | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | オリエンテーション：有明海や水俣湾における水環境の現状 | | |
| 第2回 | 水環境モニタリング技術について | | |
| 第3回 | 水道と水源池 | | |
| 第4回 | 水源を守る | | |
| 第5回 | 日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(1) | | |
| 第6回 | 日本国内外の廃棄物処理の現状から起こる、水問題について(2) | | |
| 第7回 | 化学薬品、重金属などの危険物質の現状と対策について | | |
| 第8回 | 世界の水環境問題と膜分離技術の貢献について | | |
| 第9回 | <水を造る>膜分離技術概論 - 現状と展望 - | | |
| 第10回 | <水を再生する>膜分離技術概論 現状と展望 - | | |
| 第11回 | 水環境生態系の保全と修復 | | |

| | |
|------|-----------------------|
| 第12回 | 環境シミュレーションの方法と数値計算の原理 |
| 第13回 | コンピュータによる数値計算の手続き |
| 第14回 | 環境問題へのシミュレーションの応用例 |
| 第15回 | 水環境の安全・安心に関する総括と評価試験 |
| 第16回 | 評価結果に対する指導 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587043399 | 科目番号 / Subject code | 05870433 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEMB 12191_005 | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心できる社会 (安全と安心の街づくり) / Safety and Assurance in Everyday Life | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 植木 とみ子 / Tomiko Ueki, 田邊 秀二 / Tanabe Shuji | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 植木 とみ子 / Tomiko Ueki | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 植木 とみ子 / Tomiko Ueki | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 新館 101 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | eメールにて随時受け付けます | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 安全安心というキーワードを通して、真に豊かな生活を考える | | |
| 授業到達目標 / Goal | 真に民主政治を担うことが出来る、自立した個人を育成する | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 課題に関する資料の読み込み、ディスカッション、共通理解 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 安全安心の街とは何かをあらゆる方面から考え、その中での個人の役割を認識する | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 植木とみ子著「市役所の女」海鳥社、プリント、行政資料 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 課題30%、授業参加度30%、試験40% | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 防災 あなたにとって安全安心の街とは | | |
| 第2回 | 防災 具体的な行動 | | |
| 第3回 | 防犯 無力な存在はどう護られるか | | |
| 第4回 | 防犯 あなたは安全な環境にいるか | | |
| 第5回 | 防犯 あなた自身の心は安全か | | |
| 第6回 | 安全安心の街とは 長崎は住みやすいか | | |
| 第7回 | 環境・街づくり 長崎の道路事情 | | |
| 第8回 | 環境・街づくり ユニバーサルデザインの街 | | |
| 第9回 | 環境・街づくり 水資源をどう護るか | | |
| 第10回 | 環境・街づくり ごみ減量の取組み | | |
| 第11回 | 子育て・教育 母親の孤立を防ぐ | | |
| 第12回 | 高齢者・障害者 弱者支援とは | | |
| 第13回 | 地域での共生を考える | | |
| 第14回 | 生活の中での安全安心 食品問題と消費者問題 | | |
| 第15回 | 安全安心の街はどう造られるか | | |

| | | | |
|---|---|---|----------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6, 金 / Fri 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/06/04 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587054599 | 科目番号 / Subject code | 05870545 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 安全で安心できる社会の追及 (リスクマネジメントと安全文化) | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko, 西村 宣彦 / Nobuhiko Nishimura | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 小山 敦弘 / Koyama Atsuhiko | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 新館 201 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 全学部2年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | hidechto@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 工学部1号館3F機械工学 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-2516 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月曜日午前8時から8時30分 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 過去の事故等を調査しその問題討論することにより、安全に対する意識の向上を図る。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 安全を確保するための方法について考え、討論を行うことが出来る。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) /Method | 講義、調査、発表、討論からなる演習形式。特に、安全工学の概略について教員から講義を受け、共に討論を行う。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <p>事故や災害に関わる問題では、設備や装置の安全な設計、それを運転する人間の教育、システムとしてのマネジメント・保守管理、組織 (企業・経営) など様々なレベルがあり、各レベルにおける事故原因がある。また、原因ばかりでなく、その影響の大きさや広がりも把握することも重要である。さらに事故や災害時の対応やその後の対策も重要である。各回の授業において、それらについて調査し議論をおこなう。また、リスクアセスメント等の重要な考え方について演習を踏まえて学ぶ。</p> <p>1回 安全工学の概論 (その1: リスクアセスメント) 2回 安全工学の概論 (その2: 安全文化) 3回 安全工学の概論 (その3: グループ討議の検討) 4回 調査・討論 (概略、状況、原因の調査: その1) 5回 調査・討論 (概略、状況、原因の調査: その2) 6回 調査・討論 (概略、状況、原因の調査: その3) 7回 調査・討論 (対応、その後の経過: その1) 8回 調査・討論 (対応、その後の経過: その2) 9回 調査・討論 (対応、その後の経過: その3) 10回 調査・討論 (事故の分析: その1) 11回 調査・討論 (事故の分析: その2) 12回 調査・討論 (事故の分析: その3) 13回 調査・討論 (事故の分析: その4) 14回 調査・討論 (全体討論: その1) 15回 調査・討論 (全体討論: その2)</p> <p>クラス全体で最終発表を行う。各班は調査結果をパワーポイントを用いて発表するとともに、討論する。</p> <p>課題例 : ソニーリチウム電池事故、日比谷線脱線衝突事故、シンドラエレータ問題、六本木回転ドア事故、スペースシャトルチャレンジャー・コロンビア事故、H ロケット事故、東海村臨界事故、もんじゅNa漏れ事故、雲仙普賢岳噴火災害、長崎大水害、アスベスト問題など</p> | | |
| キーワード/Key word | 安全工学、事故、リスクアセスメント、安全文化 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 安全工学資料室にある資料 (安全工学に関する参考書、安全工学や事故に関するビデオ) を利用する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | <p>・評価方法: レポート70点, プレゼンテーション30点の合計が60点以上を合格とする。 ・評価基準: 事故をよく調査しているか。関係者の事故や災害への対応とその後の対策についてよく調べているか。リスクアセスメントや事故後の情報や対策の展開の妥当性について考えているか。プレゼンテーションはわかりやすかったか。</p> | | |
| 受講要件 (履修条件) /Requirements | <p>・1年次の「安全・安心のモジュール」を聴講していることが望ましい。 ・全回出席を原則とする。</p> | | |

| | |
|--------------------------------|---|
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp |
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/22 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160588007050 | 科目番号 / Subject code | 05880070 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 生物の科学～動物の行動分析と推計学～ / Biological Sciences | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 高橋 正克 / Takahashi Masakatsu | | |
| 科目分類 / Class type | 自由選択科目, 自由選択科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 本館 2 2 (講義室) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 全学部 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | takahasi@nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab@q.vodafone.ne.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 090-1343-1361 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 事前にメール、電話等でアポイントをとってください。 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | ヒトは、物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り、有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に、ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び、動物行動科学の応用性と薬物の有用性、有害性について一般教養レベルで理解する。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 動物の行動から何がわかるか説明できるようになる。一般教養として、動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる。薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 動物の行動の基本事項、動物モデル、行動機能試験、医薬品の適正使用と薬物乱用など多様な行動機能を学習し、行動分析の意義を理解する。動物実験とデータ処理について学び、動物行動科学の裏づけを学ぶ。 第16回目: 定期試験を行う。 | | |
| キーワード/Key word | 動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 定期試験(50%)、随時行う講義中の小テスト、レポート(30%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 原則として全出席することを単位認定の要件とする。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | 一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。 | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動、動物実験とその意義 | | |
| 第2回 | 動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル | | |
| 第3回 | 動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安、ストレス | | |
| 第4回 | 動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ | | |
| 第5回 | 動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析 | | |
| 第6回 | 動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存 | | |
| 第7回 | 動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法 | | |
| 第8回 | 動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬 | | |

| | |
|------|-----------------------------------|
| 第9回 | 動物の行動機能試験（8） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法 |
| 第10回 | 動物の行動機能試験（9） 動物の行動毒性から学ぶこと |
| 第11回 | 動物実験とデータ処理（1） 動物実験で使用される基本的検定法 1 |
| 第12回 | 動物実験とデータ処理（2） 動物実験で使用される基本的検定法 2 |
| 第13回 | 動物実験とデータ処理（3） 動物実験で使用される基本的検定法 3 |
| 第14回 | 動物実験とデータ処理（4） メンデルの実験データを考える |
| 第15回 | 全授業の総括 |
| 第16回 | 定期試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160588007150 | 科目番号 / Subject code | 05880071 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | ASEANのいろいろ / All About ASEAN | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru | | |
| 科目分類 / Class type | 自由選択科目, 自由選択科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | [経済] 本館 2 2 (講義室) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主コース | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | yuzuru@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 東南アジア研究所209室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-820-6300 (代表) | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 随時応談 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | <p>本講義は、ASEAN（東南アジア諸国連合）を構成する各国社会事情について、網羅的に理解することを目的とする。</p> <p>ASEANは、わが国による経済活動にとって、枢要な位置を占める。食糧確保や防衛、周辺諸国を含めた環境保護にとっても、重要な地域である。同地域社会事情に関する知見は、一般教養であるとさえ言える。にもかかわらず、さほど知られる知見であるとも言いがたい。ASEANを構成する国名をすべてそらんじることができる人々が、何人いるだろうか。</p> <p>そこで担当者は、同地域における地理、歴史、人口、経済に着目、これらを網羅的に解説することを企図するに至った。</p> | | |
| 授業到達目標/Goal | <p>本講義は、以下3点を、講義目標として提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ASEANに関して提供した知見を、正確に獲得すること。 2. 同地域に関心を抱くこと。 3. 同地域において発生し得る社会問題を考察すること。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 講義による | | |
| 授業内容/Class outline/Con | <p>本講義は、ASEAN各国における地理、歴史、人口、経済に関する知見を提供する。とくに、ASEANと呼ばれる各国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）については、時間を割いて解説する。</p> | | |
| キーワード/Key word | <ol style="list-style-type: none"> 1. 東南アジア諸国連合 2. 持続可能性 3. 社会貢献 4. 環境保護 5. 人口構造 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | <p>教科書は用いない。講義担当者が配布する資料および各機関が作成した各国事情に関する資料を用いる。一例として、国際協力銀行による資料 (https://www.jbic.go.jp/ja/information/investment) を挙げる。</p> | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | <p>本科目は、以下4点を、成績評価基準とする。カッコ内は、成績評価に占める重要度を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期試験（50%）：定期試験期間中に実施する。 2. 小テスト（@10%×2回、20%）：中に2回実施する。 3. 予習用課題（@1%×15回、15%）：講義当日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 4. 復習用課題（@1%×15回、15%）：講義日翌日までに提出する課題。eラーニングシステムにアップロードする。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 特になし。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | <p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p> | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | <ol style="list-style-type: none"> 1. 4回以上欠席した受講者は、理由の如何を問わず、定期試験を受験する権利を喪失する。 2. 本講義は、必携PCおよびスマートフォンを用いる。持参して出席すること。 3. 講義内容に関する質問を歓迎する。 | | |

| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
|-----------------------------|---|
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 1 | イントロダクション：本講義目標、方法、成績評価基準について説明する。受講者がASEANについてなにを知っているか（知らないか）に関する調査も実施する。 |
| 2 | 世界とわが国とASEAN その1：おもに経済的側面について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。 |
| 3 | 世界とわが国とASEAN その2：経済的側面を除く社会事情について、ASEANが人類社会に占める位置を概観する。 |
| 4 | タイ その1（歴史・地理・人口・経済） |
| 5 | タイ その2（企業と産業） |
| 6 | タイ その3（社会貢献と昨今の情勢） |
| 7 | マレーシア |
| 8 | Mid-term ASEAN Quiz |
| 9 | ベトナム その1（歴史・地理・人口・経済・企業） |
| 10 | ベトナム その2（食料生産と環境保護） |
| 11 | フィリピン |
| 12 | インドネシア |
| 13 | その他各国 その1（ラオス、カンボジア、ミャンマー） |
| 14 | その他各国 その2（ブルネイ・ダルサラーム、シンガポール） |
| 15 | 総括とASEAN Quiz その2 |
| 16 | 定期試験 |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 / required | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590001050 | 科目番号 / Subject code | 05900010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11162_032 | | |
| 授業科目名 / Subject | 英語コミュニケーション / English Communication | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 吉村 宗司 / Yoshimura Soshi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 吉村 宗司 / Yoshimura Soshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 吉村 宗司 / Yoshimura Soshi | | |
| 科目分類 / Class type | A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | [経済]本館MS 1, [経済]本館MS 2 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | soshi@tea.ocn.ne.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 授業終了後(21:10~ / 授業時の教室) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス「体験的・こまぎれ比較文化論」も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。 | | |
| キーワード/Key word | 音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、直読直解、異文化理解 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | (1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |

| 学生へのメッセージ/Message for students | 授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!! |
|--------------------------------|---|
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) |
| 第2回 | 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について |
| 第3回 | プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/ |
| 第4回 | /r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説 |
| 第5回 | 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック |
| 第6回 | 『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化 |
| 第7回 | 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化 |
| 第8回 | 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン |
| 第9回 | 『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化) |
| 第10回 | 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン |
| 第11回 | 『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響) |
| 第12回 | On an Airplane(1) |
| 第13回 | On an Airplane(2) |
| 第14回 | At an Airport(1)、洋楽を聞き取る |
| 第15回 | At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ |
| 第16回 | 定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。 |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 / required | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590001051 | 科目番号 / Subject code | 05900010 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11162_032 | | |
| 授業科目名 / Subject | 英語コミュニケーション / English Communication | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 吉村 宗司 / Yoshimura Soshi | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 吉村 宗司 / Yoshimura Soshi | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 吉村 宗司 / Yoshimura Soshi | | |
| 科目分類 / Class type | A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | [経済]本館MS 1, [経済]本館MS 2 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | soshi@tea.ocn.ne.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 非常勤講師控室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 授業終了後(19:30~ / 授業時の教室) | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というものも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語) - 必要最低限の英語(及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることが出来るリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 授業内容(概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス「体験的・こまぎれ比較文化論」も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。 | | |
| キーワード/Key word | 音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、直読直解、異文化理解 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | (1) 英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 定期試験70%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表)30%、等の総合判定によって評価を行なう。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |

| | |
|--------------------------------|---|
| 学生へのメッセージ/Message for students | 授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!! |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents |
| 第1回 | オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) |
| 第2回 | 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について |
| 第3回 | プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/ |
| 第4回 | /r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説 |
| 第5回 | 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック |
| 第6回 | 『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化 |
| 第7回 | 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化 |
| 第8回 | 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン |
| 第9回 | 『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化) |
| 第10回 | 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン |
| 第11回 | 『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響) |
| 第12回 | On an Airplane(1) |
| 第13回 | On an Airplane(2) |
| 第14回 | At an Airport(1)、洋楽を聞き取る |
| 第15回 | At an Airport(2)、洋楽を聞き取る、まとめ |
| 第16回 | 定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。 |

| | | | | |
|--|--|---|--------------------|---------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 期 / First Semester | 前 | 曜日・校時 / Day・Period | 火/Tue 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06-2016/07/26 | | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 | |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590003050 | 科目番号 / Subject code | 05900030 | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11262_032 | | | |
| 授業科目名 / Subject | 英語コミュニケーション | | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 山崎 有介(センターセンター(1)大学教育イノベーションセンター) | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 山崎 有介(センターセンター(1)大学教育イノベーションセンター) | | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 山崎 有介(センターセンター(1)大学教育イノベーションセンター) | | | |
| 科目分類 / Class type | 教職免許科目・その他 , A科目群 外国語科目(既習), A科目群 外国語科目(英語) | | | |
| 対象年次 / Year | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 / Class Form | 演習 | |
| 教室 / Class room | | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済学部 夜間主1年 | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | pro-1223@hotmail.co.jp | | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 非常勤講師室 | | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 授業後 | | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 日本人学生ヒロがイギリス留学中にお世話になったホストファミリーを今度は日本に迎え、案内するという設定になっている。東京オリンピックを2020年に控え、基礎文法を復習しながら、日本の文化・風習などを英語で紹介できるように学習する。 | | | |
| 授業到達目標/Goal | 無理なく通常の英文が読め、聴解力を養うことで、発音の向上を目指したい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。 | | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力 | | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 毎回Unitを1回ずつ進む。授業の中で単語テストや小テストも織り交ぜながら、Reading Listening Grammar Writing Speakingの流れで行う。 | | | |
| キーワード/Key word | Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary/Grammar | | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | Introduce Japan in Easy English -English Once More! - (Asahi Press) | | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 授業への姿勢(発言、質問など)10%、中小テスト20%、間試験30%、定期試験40% | | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | | | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 予習・復習をきちんと行うこと。簡単であると思われることも確認を怠らないこと。 | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | | |
| 第1回 / 4/12 | Orientation&Quiz: これからの学習の準備 | | | |
| 第2回 / 4/19 | Unit 1 空港:で 文型 (第1文型・第2文型・第3文型) | | | |
| 第3回 / 4/26 | Unit 2 マンションに到着 文型 (第4文型・第5文型 / 自動詞と他動詞 / There + be動詞 + 名詞) | | | |
| 第4回 / 5/10 | Unit 3 お客様を迎える 不定詞、動名詞(不定詞の名詞的用法 / It is ... to ~ 構文 / 疑問詞不定詞 / 不定詞と動名詞の違い) | | | |
| 第5回 / 5/24 | Unit 4 デパートでお買い物 不定詞 (形容詞的用法 / 副詞的用法 / 様々な表現) | | | |
| 第6回 / 5/31 | Unit 5 お花見 分詞(名詞を修飾 / 文中で補語 / 様々な表現 / 分詞構文) | | | |
| 第7回 / 6/7 | Unit 6 浅草へ行こう! 接続詞 (等位接続詞) | | | |
| 第8回 / 6/14 | 前半のまとめ(筆記試験を含む) | | | |
| 第9回 / 6/21 | Unit 7 秋葉原を散策 接続詞 (従属接続詞 / 名詞節を導くもの / 副詞節を導くもの) | | | |

| | |
|-------------|--|
| 第10回 / 6/28 | Unit 8 平和への祈り 過去完了形（現在完了形と過去完了形 / 過去完了形の用法） |
| 第11回 / 7/5 | Unit 9 京都旅行：新幹線の旅 話法（直接話法と間接話法 / 時制の一致 / 間接話法での伝達動詞、代名詞や副詞の表し方） |
| 第12回 / 7/12 | Unit 10 茶道初体験 話法（伝達内容が疑問文の場合 / 伝達内容が命令文などの場合） |
| 第13回 / 7/19 | Unit 11 京都の思い出 関係代名詞（主格の関係代名詞 / 所有格の関係代名詞 / 目的格の関係代名詞） |
| 第14回 / 7/26 | Unit 12 日本滞在最後の日：築地市場～上野公園 関係代名詞（thatが好まれる場合 / 関係代名詞と前置詞 / 関係代名詞what） |
| 第15回 / 8/2 | 後半のまとめ（定期試験を含む） |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 / required | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590003051 | 科目番号 / Subject code | 05900030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11262_032 | | |
| 授業科目名 / Subject | 英語コミュニケーション / English Communication | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 丸山 真純 / Maruyama Masazumi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 丸山 真純 / Maruyama Masazumi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 丸山 真純 / Maruyama Masazumi | | |
| 科目分類 / Class type | A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, 教職免許科目・その他 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | [経済] CALL教室 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | masazumi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 東南アジア研究所312 | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 月 17:00 - 18:30 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | e-learning教材を用いて、リスニング、スピーキング、発音、また、語彙やイディオムを総合的に学ぶ。 具体的には、English Centralを用いて、さまざまなトピックのスピーチ、インタビュー、会話などの教材を通じて、聞き取り(ディクテーション)、発音やスピーキング、語彙やイディオム(必要に応じて、文法事項)などの学習を行う。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | リスニングやスピーキング、語彙・イディオム、文法の力を伸ばす。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | CALL教室にて、担当教員による解説のほか、個人個人による練習、Pair-Work Group-Workなど、コミュニケーション活動を重視する | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 教材に基づき、以下の事柄を学習し、実際に運用できるようにする。具体的な内容は以下の通り(ただし、教材は日々更新されているので、以下の内容はおおよその目安と考えてもらいたい。また、受講生の興味・関心を勘案し教材を変更する可能性がある)。 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | English Central (3000円程度) ほか、資料を配布する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 毎回、授業の終わりには、ふりかえりを提出してもらう。これらが全体で30点に相当する。また、小テストを3回行う(最後の小テストはテスト期間になる予定)。1回10点×4回=40点である。English Centralの指定された課題が30点である。授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 また、進捗状況に応じて、Quizの日時等は変更になるので留意されたい。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | Introduction English Centralの基本的な使用法 | | |
| 第2回 | Interview of Kei Nishikori (1) | | |
| 第3回 | Interview of Kei Nishikori (2) | | |
| 第4回 | Daily Conversation (1) | | |
| 第5回 | Daily Conversation (2) | | |
| 第6回 | Quiz 1 Pronunciation (1) | | |
| 第7回 | Travel Conversation (1) | | |
| 第8回 | Travel Conversation (2) | | |
| 第9回 | Daily Conversation (3) | | |

| | |
|------|--|
| 第10回 | Quiz 2 Pronunciation (2) |
| 第11回 | Daily Conversation (4) |
| 第12回 | Steve Jobs' Speech (1) |
| 第13回 | Steve Jobs' Speech (2) |
| 第14回 | Quiz 3 Pronunciation (3) |
| 第15回 | Pronunciation (4) Catch-up & Review |
| 第16回 | Quiz 4 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/21 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 / required | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590005050 | 科目番号 / Subject code | 05900050 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11363_032 | | |
| 授業科目名 / Subject | 英語コミュニケーション / English Communication | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 丸山 真純 / Maruyama Masazumi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 丸山 真純 / Maruyama Masazumi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 丸山 真純 / Maruyama Masazumi | | |
| 科目分類 / Class type | B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | [経済] 本館 11 (講義室) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | masazumi@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 東南アジア研究所312 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 820-6376 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 金 17:00 - 18:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 音声教材を用いて、音声面の特徴の理解にとどまらず、語彙やイディオム、文法について学ぶ。具体的には、90分の授業を3つに分ける：5分間リスニング演習と解説； Check the Soud (英語の音声に関わる特徴を体系的に学ぶ)； 洋楽(や日本の音楽が英訳された曲)を用いた演習と解説。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 英語音声の特徴が理解できるようになること、および、実際に聞き取ることができるようになること。 曲にまつわる文章を通じての読解力の習得。 および、基本的英文法の習得 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 音声教材の聞き取り演習、Pair-Work、Group-Work、ならびに教員による講義 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 教科書に基づき、以下の事柄を学習し、実際に運用できるようにする。具体的な内容は授業計画の通り。 | | |
| キーワード / Key word | 英語リスニング 英語リーディング 基本英文法 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | English with Hit Songs, Teruhiko Kadoyama & Simon Capper, SEIBIDO. 文法事項について言及するので、高校時に使用した参考書を持参してください。もし購入する場合、『フォレスト』をお勧めします。 また、辞書を持参すること。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 毎回、授業後には、ふりがえりを行う。これらは全体で40点に相当する。 また、小テストを3回行う(最後の小テストはテスト期間になる予定)。1回20点×3回=60点である。 授業での皆さんの反応を見ながら、これ以外の課題を課す場合もある。その際は、上記の代替になるか、あるいは、ボーナス・ポイントとする。 | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 科目の性格上、全授業の1/3以上の欠席者には、単位が与えられない。 辞書は必ず毎回持参すること。 内容は理解度に応じて、変更する場合がある。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | Introduction 強弱をつける(1) : I just called to say I love you | | |
| 第2回 | 強弱をつける(2) : Take me out to the Ball Game 文法 : ifの2つの用法 | | |
| 第3回 | 音の連結(1) : To Love You More 文法 : 現在完了 | | |

| | |
|------|---|
| 第4回 | 音の脱落(1): Open Arms 文法: 分詞 |
| 第5回 | 注意すべき母音: Life 文法: 品詞 (Winter Wonderland) |
| 第6回 | Quiz 1 音の同化: Don't Look Back in Anger 文法: 知覚動詞 |
| 第7回 | 音の脱落(2): A Whole New World 文法: 関係副詞 (Grandfather's Clock) |
| 第8回 | 音の変化の複合: I don't want to miss a thing 文法: 助動詞 |
| 第9回 | 音の弱化: The Stranger 文法: 関係代名詞 |
| 第10回 | 音の連結(2): Hey now 文法: 不定詞 |
| 第11回 | Quiz 2 音の脱落(3): Every time I close my eyes 文法: 接続詞 |
| 第12回 | 短縮形の音(1): Kiss of life 文法: 完了不定詞 |
| 第13回 | 短縮形の音(2): All I want for Christmas is you 文法: 5文型 |
| 第14回 | 音の脱落(4): Livin' la vida loca 文法: 使役動詞 |
| 第15回 | Catch-up & Review |
| 第16回 | Quiz 3 |

| | | | | |
|--|---|---|--------------------|---------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 期 / First Semester | 前 | 曜日・校時 / Day・Period | 木/Thu 6 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06-2016/07/21 | | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 | |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590005051 | 科目番号 / Subject code | 05900050 | |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11363_032 | | | |
| 授業科目名 / Subject | 英語コミュニケーション | | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 白水 桂子(経済学部) | | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 白水 桂子(経済学部) | | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 白水 桂子(経済学部) | | | |
| 科目分類 / Class type | A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目, B科目群 外国語科目(既習) | | | |
| 対象年次 / Year | 1年,2年,3年,4年 | 講義形態 / Class Form | 演習 | |
| 教室 / Class room | | | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主 | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | kuwata@nagasaki-u.ac.jp | | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 東南アジア研究所2階 | | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | Eメールにより質問を受け付けます。 | | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | それぞれのUnitのテーマに関する会話、英文を読み、短い英作文を作成するなどコミュニケーション能力向上のためのタスクを行う。 | | | |
| 授業到達目標/Goal | 英文とデータを読み取り、その内容に関する意見を英語で表現することができるようになる。 | | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 英文の担当箇所を予め決め、発表形式で行います。 | | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 会話の内容把握や英語の長文読解を行い、文法事項の確認、語彙力を向上させ、提示されたデータに関する意見を短い英文で見せる。 | | | |
| キーワード/Key word | | | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | Gale & Fukuhara (2015) Provoke a Response! (南雲堂) | | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 授業への参加状況 50% 期末試験 50% | | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | ある一定の回数以上欠席すると、期末試験を受験する事ができなくなります。 | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | | |
| 第1回 | オリエンテーション | | | |
| 第2回 | Crime Why is the crime rate so low in Japan? | | | |
| 第3回 | Mobile Phones How mobile phones affect us and our relationships | | | |
| 第4回 | Smoking The smoker's paradise | | | |
| 第5回 | Junk Food How can Japan avoid becoming a junk-food nation? | | | |
| 第6回 | Celebrity marriage Why is the celebrity divorce rate so high? | | | |
| 第7回 | Sport Just because sport is an international language doesn't mean it's easy | | | |
| 第8回 | 第1回目から第7回目までの復習 | | | |
| 第9回 | Driving How to make Japan's roads safer still | | | |
| 第10回 | Bullying The scariest bullies wear skirts | | | |

| | |
|---------|---|
| 第 1 1 回 | Sleeping Should Japanese mothers sleep with their school-age children? |
| 第 1 2 回 | Japan' s population crisis How can Japan avoid a demographic meltdown? |
| 第 1 3 回 | Parasite singles Get smart and live with your parents! |
| 第 1 4 回 | J-pop Why I have to switch off when the idols are on |
| 第 1 5 回 | Cosmetic surgery and physical appearance The feminization of men |
| 第 1 6 回 | 期末試験 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 水 / Wed 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/20 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 / required | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590009050 | 科目番号 / Subject code | 05900090 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11113_032 | | |
| 授業科目名 / Subject | 総合英語 / Comprehensive English | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 前川 智子 / Maekawa Tomoko | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 前川 智子 / Maekawa Tomoko | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 前川 智子 / Maekawa Tomoko | | |
| 科目分類 / Class type | A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | [経済] 新館 101 (講義室) | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | 夜間主コース | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | t-mae@iso-asca.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 非常勤講師控え室 | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 授業開始前10分間 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 英語の構成法を学ぶこと、語彙を増やすこと、英語らしい読み方が出来ることがねらいである。この三点をマスターさせることにより、今後の英語学習につなげたい。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 英語構成を確実に身につける。派生語を理解し、語彙を増やす。英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | 教科書の、語句と英文構成に関する練習問題 (特に、1と2) を中心に学習し、英語構成をマスターし、派生語を中心に語彙力を向上させる。各章の最初の段落をoverlapping, shadowingをしながら、英語らしい読み方を習得する。更に、時間が許す限り、本文を把握する練習をする。毎回、授業開始時に、その日の予習課題から小テストを行う。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | | | |
| キーワード / Key word | 語彙力、英文構成法、音読 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 「Peace Talk」 (開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc 外著) | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 期末テスト (50%) 小テスト (40%) 課題・授業中の活動 (10%) | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | 欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。 | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | 毎回宿題 (教科書の練習問題) を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。ほぼ毎週、その日の予習課題から小テストを行う。教科書のお下がりには不可。同じ教科書で受講した再履修者に限っては本人の教科書であれば再使用も可能だが、新教科書で新たに学習することを奨励する。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回 (日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 教科書販売 / 授業の進め方、教科書の使い方、英文構成法、英文と日本語の違い、小テストについて、等 | | |
| 第2回 | 小テスト Ch. 1 / Ch.1: September 11 (語彙・英文構成、音読) | | |
| 第3回 | 小テスト Ch. 2 / Ch.2: Beyond "September 11" (語彙、英文構成、音読) | | |
| 第4回 | Review / 内容把握問題 | | |
| 第5回 | 小テスト Ch. 3 / Ch.3: The Stone Walk (語彙・英文構成、音読) | | |
| 第6回 | 小テスト Ch.4 / Ch.4: Students' Power in the Stone Walk (語彙・英文構成、音読) | | |
| 第7回 | 小テスト Ch.5 / Ch.5: Japan and My Family (語彙・英文構成、音読) | | |
| 第8回 | 小テスト Ch.6 / Ch.6: The Japan that I love (語彙・英文構成、音読) | | |
| 第9回 | Review / 内容把握問題 | | |
| 第10回 | 小テスト Ch.7 / Ch.7: Paper Sculpture (語彙・英文構成、音読) | | |
| 第11回 | 小テスト Ch.8 / Ch.8: The Ture of the Exhibition (語彙・英文構成、音読) | | |
| 第12回 | 小テスト Ch.11 / Ch.11: Prayer for Peace (語彙・英文構成、音読) | | |

| | |
|------|---|
| 第13回 | Review / 内容把握問題 |
| 第14回 | 小テスト Ch.12 / Ch.12: Japanese Young Volunteers in America (語彙・英文構成、音読) |
| 第15回 | Review 全体の復習 |
| 第16回 | 期末テスト |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 水 / Wed 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/29 ~ 2017/03/31 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 / required | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590011050 | 科目番号 / Subject code | 05900110 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11213_032 | | |
| 授業科目名 / Subject | 総合英語 / Comprehensive English | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 白水 桂子 / Shirouzu Keiko | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 白水 桂子 / Shirouzu Keiko | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 白水 桂子 / Shirouzu Keiko | | |
| 科目分類 / Class type | A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | [経済] CALL教室 | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済学部夜間主 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | kuwata@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 東南アジア研究所 2階 | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 火曜日17:40 ~ 18:30 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 基礎的な文法事項の復習とTOEIC形式の問題演習を行う。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 基礎的な文法事項を習得し、会話や英文の内容を把握できるようになること。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 各自が問題演習に取り組み、授業中には音読、課題では筆写を取り入れ学習内容の定着を計る。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | リスニング、文法事項の復習、TOEIC形式の問題演習などを行う。 | | |
| キーワード/Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | Kadoyama & Capper (2015) Let's Read Aloud More! (成美堂) | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 授業への参加状況 50% 期末試験 50% | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | ある一定の回数以上欠席すると、期末試験の受験資格がなくなります。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | オリエンテーション This is my first visit there. 現在形・過去形 1 | | |
| 第2回 | How do you like Bangkok? 現在形・過去形 2 | | |
| 第3回 | It's going well so far. 進行形・未来形 | | |
| 第4回 | Have they decided on the design yet? 現在完了形 | | |
| 第5回 | Could you take a look at them? 助動詞 | | |
| 第6回 | My flight was canceled. 受動態 | | |
| 第7回 | 第1回目から第6回目までの復習 | | |
| 第8回 | What do you want me to do? 不定詞 | | |
| 第9回 | She knows marketing very well. 関係詞 1 | | |
| 第10回 | Thank you for coming to our interview. 動名詞 | | |

| | |
|---------|--|
| 第 1 1 回 | The competition will be very strong. 形容詞・副詞 |
| 第 1 2 回 | This is where we hold meetings. 關係詞 2 |
| 第 1 3 回 | I'd like to talk about our latest model. 分詞 |
| 第 1 4 回 | You are much better than me. 比較 |
| 第 1 5 回 | If I were you, I wouldn't miss it. 假定法 |
| 第 1 6 回 | 期末試驗 |

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 7 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/21 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修 / required | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160590013050 | 科目番号 / Subject code | 05900130 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | GEEN 11313_032 | | |
| 授業科目名 / Subject | 総合英語 / Comprehensive English | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 山崎 有介 / Yamazaki Yusuke | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 山崎 有介 / Yamazaki Yusuke | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 山崎 有介 / Yamazaki Yusuke | | |
| 科目分類 / Class type | B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 演習 / Seminar |
| 教室 / Class room | [経済] 新館 101 (講義室) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | 経済学部(夜間主)2年生 | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | pro-1223@hotmail.co.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 非常勤講師室 | | |
| 担当教員TEL/Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 授業終了直後 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 「科学はコミュニケーションでできている」という考えを基礎に様々なサイエンス・コミュニケーション論文、専門書、書籍、新聞を扱う。コミュニケーションのスピードが日に日に増している。情報が速く、大量に回れば、それだけ科学の発達も早まり、新しい科学技術の応用の限界を決める話し合いが追いつかなくなっている。英語を通じて、社会と密接にかかわっている科学の全体像を把握して、視野を広げていくことを期待したい。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 語彙の確認、リスニングによる音声把握、音読による発音練習、英文の読解力と表現力を養う。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 毎回一つずつUnitを進む。Warming Up Science Communicationに必要な英文法 Reading Writing の流れで進む。また、各所で、文法演習問題、内容確認問題/語彙・文法問題、演習問題、実践課題を行っていく。また、小テストとして単語テストを実施する。 | | |
| キーワード/Key word | Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary/Grammar | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | Science Communication in English (Asahi Press) | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 中間試験20%、定期試験20%、小テスト10%、課外学習のe-learning40%(3 Step CALL10%、Power Words10%)、授業への姿勢(発言、質問など)10% | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 予習のときにReadingを一読した後は、注と【語彙・文法問題】に目を通してから、辞書をひいて読み直してほしい。 | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 / 4/7 | Orientation & Quiz: これからの学習の準備 | | |
| 第2回 / 4/14 | Unit 1 Science and Communication: 現在形と現在進行形 | | |
| 第3回 / 4/21 | Unit 2 Engineered Sakura: 仮定法(特殊) | | |
| 第4回 / 4/28 | Unit 3 Science Is for Everyone: to不定詞(= to + 動詞の原形) | | |
| 第5回 / 5/12 | Unit 4 Galileo and Science Communication: 接続詞 | | |
| 第6回 / 5/26 | Unit 5 What Is Information?: 仮定法 | | |
| 第7回 / 6/2 | Unit 6 The Advent of Writing: 関係代名詞 | | |
| 第8回 / 6/9 | 前半のまとめ(筆記試験を含む) | | |
| 第9回 / 6/16 | Unit 7 Leonardo da Vinci's Perspective: 分詞構文 | | |
| 第10回 / 6/23 | Unit 8 Scientific Insight into Colors: 受動態・能動態 | | |

| | |
|-------------|--|
| 第11回 / 6/30 | Unit 9 Into the Future: 句動詞 |
| 第12回 / 7/7 | Unit 10 Obesity/Child care: Body mass index may not reflect child obesity: 句動詞 |
| 第13回 / 7/14 | Unit 11 Communication through Occupation: 代名詞 |
| 第14回 / 7/21 | Unit 12 The Hope of and Anxiety over Robots and Automation: 動名詞 |
| 第15回 / 7/28 | 後半のまとめ (定期試験を含む) |